

## 用語解説

青森市横内川水道水源保護条例	「日本一おいしい水」を青森市民の宝物として守り、育み、青森市の水道の要である横内浄水場の水道水源を保護し、安定供給を図るため、平成14年3月に制定した。
一斉林	皆伐跡地に一斉に植林して造った、単一の樹種の森林。
オオシラビソ	マツ科モミ属の亜高山常緑針葉樹。別名アオモリトドマツ。
崖錐（地）	急な崖を形成する岩屑などが崩落して、その基部に堆積してつくられた半円錐状の地形。
環境保全	自然環境を保護するための行動理念。保護、保存、保全、復元（再生）の4つの概念がある。保護する自然の種類や状態によって適用される保護概念が異なるが、通常は利用しながら保護してゆく意味で使われることが多い。
灌水	草木や農作物に水を注ぎかけること。
緩速ろ過方式	浄水処理の一つで、沈殿池で原水中のにごり（ゴミ、木の葉、泥など）を自然に沈ませて除去した後、ろ過池で1日4～5メートルのゆっくりした速度で砂の層を通して水の汚れを取り除く方式。
胸高直径	胸高における直径。基準高として日本では1.2メートルを用いる。
極相	遷移の最終段階に到達した植生の状態。自然林は中庸立地の極相林である。
クラス域	広域的に分布し、景観を特徴づけている自然植生によって植物社会学的に定義された主要なクラスの生育域。日本の植生は、高山帯域、コケモモ・トウヒクラス域、ブナクラス域及びヤブツバキクラス域に大別される。
群度	ある植分におけるそれぞれの植物の生育状態を表わす質的判定尺度で5段階で表される。
群落	いくつかの植分を相観、優占種、種組成などの尺度で類型化したもの。
原植生	人為的影響を受けていない植生。39ページを参照。

源頭部	河川の上流端。
好窒索性（植物）	窒素分の豊富な土壌によく生育する植物。ホトケノザ、ツユクサなど。
高木層・亜高木層	森林で林冠を占める木が造る層を高木層、その高さに達しない木が造る層を亜高木層という。
谷頭（こくとう）	谷の最上流にある急斜度部。
自然植生	極相に同じ。39 ページを参照。
植生学	多くの植物から形成されている植物の群落・植生について、その発生・発達や環境要因などに関する学問。
植物社会学	複数種による群落を一つの社会と見なし、その構造や構成を研究対象とする学問。
植生生態学	集合体としての植生の内部構造、機能の解析、植生により指標される立地評価、植生保全・回復等に関する学問。
植分	野外で実際に見られる小面積の均一な植物集団。植生調査では植分を対象に記録する。相観的、種組成的に共通した特徴を持つ植分の集まりを一つの名前で表したものを群落という。
水源涵養保安林	保安林とは、公益目的を達成するために、伐採や開発に制限を加える森林のことで、農林水産大臣または都道府県知事が森林法に基づき保安林として指定する。目的に合わせて 17 種の保安林があり、特に水源涵養機能を有するものを指す。
水源保護区域	水道水源の集水、涵養区域のうち、水道水源の保護のため特に措置を講ずる必要があると認める区域。
生活形	与えられた環境に対する生物の生活様式。
生物多様性国家戦略	政府（地球環境保全に関する関係閣僚会議）が決定し、将来にわたって生物多様性の恵みを受け取ることができるように、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本方針と国のとるべき施策の方向を定めたもの。
（森林）施業	植栽、下刈り、除伐、間伐、伐採など森林に対する何らかの人為的働きかけ。

施業要件	森林が保安林としての目的を十分発揮するため、必要最低限守らなければならない森林の取扱い方法。
遷移	草原から森林への発達など、時間に伴う植生の相観、構造、種組成などの変化。
潜在自然植生	その土地の植物の生育を支える能力を、植物群落の種類で表現したもの。39 ページを参照。
相観	植生の外観的な特徴のこと。草原、落葉広葉樹林、針葉樹林など。
壮齡（林）	植栽し林冠が閉鎖した後、樹木が盛んに生長して材積成長量が大きく、総平均成長量が最大に達するまでの林。
代償植生	人為により原植生、自然植生が破壊された後に成立した二次的植生。39 ページを参照。
団粒状構造	土壌の微細構造の一つ。粘土が集合した粒子がさらに集合してできる土壌粒子で構成される土壌構造。腐植を多く含んだ表層土壌に多い。空隙に富みスポンジ状でやわらかく、適度な水分と養分を伴った生物活性の高い土壌に見られる。
二次植生	代償植生に同じ。39 ページを参照。
二次林	原生林（自然林）が伐採や風水害により破壊された後に成立した森林。
「日本一おいしい水」	昭和59年、厚生省（現厚生労働省）の「おいしい水研究会」が開催した利き水会において、青森市の横内浄水場の水道水を「おいしい」と答えた人が16人中10人と最も多く、日本一おいしい水と評価された。
農用林	堆肥を作るために必要な落枝・落葉、下草・低木を集めるための林。
ビジョン	将来の見通し。未来像。
被度	ある植分におけるそれぞれの植物の生育状態を表わす量的判定尺度で6段階で表される。
腐植層	朽木や落葉がバクテリアやミミズなどの土壌生物により分解されて土状になっている層。

マルチング	地表面の飛散と流芒の防止、雑草の生育抑制、保温、保湿による植物生育の促進の為に地表面を覆うこと。
ミトコンドリア DNA(mtDNA)	ミトコンドリアが独自に持っているDNAで、核DNAに比べ塩基数が少ない上に塩基置換の頻度が高いことから、遺伝子の比較を行なう研究に適している。
幼齢（林）	植栽後、林冠が閉鎖し始めるまでの林。
林冠	森林において、太陽光線を直接受ける高木の枝葉が茂る部分。
林分	林相が一樣で、隣り合う森林と区別できるひとまとまりの森林。